

小郡市地域おこし協力隊
による活動報告コラム。

小郡農業活性化

小郡で育てて

小郡で食べる

日々の活動を
配信中!

Facebook 小郡市地域おこし協力隊

Instagram moromoro82

Twitter nougyou_ogori82



地図の情報を集めるため、産地直売所で取材しました

コロナ禍で楽しみが少なくなった今、マップを片手に、密を避けて小郡を散策してみませんか。市民の皆さんはもちろん、観光客の皆さんも小郡を巡るガイド本として役立ててもらえると嬉しいです。

市産の農作物を、多くの消費者へ



諸岡佳紀(もろおかよしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。



活動の集大成! 「地産地消マップ」を作成中

令和元年の地域おこし協力隊就任から約2年、「地産地消の実現」のために活動してきました。それまで農業とは縁遠い生活だったので、就任直後は農業関連の資料を読み込み、農家の皆さんの声に耳を傾けました。

地産地消とは、地元の人が地元生産のものを食すことです。「自然豊かな小郡で、広く地産地消が実現されていないのは、旬の農作物や生産者の横顔、販売スポットをみんなが知らないことが原因ではないか」と考えた私は、農にまつわる話題をコラムやSNSで紹介することで、生産者と消費者の縁結びをしようと活動してきました。

そんな活動の集大成として、市内で農作物や加工品を購入できるスポットが分かる「おごおり地産地消マップ」を作成中です。7月から9月にかけて、靴を1足履きつぶすほど市内の農家さんを駆け回り、40か所以上を盛り込んでいます。広報11月1日号の折り込みで皆さんへ配布予定です。



Ogostagram

地域おこし協力隊の日々の活動記録。



山隈の「翔工房」で、宝満川沿いで収穫した苧麻(チョマ)を材料にした雑貨が販売中。味わい深いデザイン、しなやかな手触り、長く使えそうです。



大板井の「御菓子処やかべ」で、地元の果物を使った和菓子が販売されています。イチゴの果肉が入ったおまんじゅうは、酸味と甘みのバランスがGOOD!



「天心園パン工房 パンネ祇園店」では、100円(税込)の高コスパの菓子パンや惣菜パンが並びます。店員さんの元気な接客にファンも多いそうです。



市内の農家さんがユニークな形のなすびを収穫しました。両手で手招きしているようなフォルム。招き猫は有名ですが、招きなすびはとも珍しいですよ。



津古に店舗を構える「コーヒー屋ひろっち」では、店主の平岩さん厳選の豆が並んでいます。ドリッパーパックが大人気とのこと。宝満の市にも出荷されています。



平方の「荒巻養蜂場」のお誘いで蜂蜜の採取を体験させていただきました。防護服という特殊な装いで、竹やぶの中に置かれた蜂箱から蜜を集めていきました。